新・技術士 CPD 制度

技術士 CPD マニュアル（簡略版）Ver1.5

技術士CPD活動の目的

技術士資格は専門知識や技術力、高い倫理観といった資質能力を客観的に保証するものです。技術士のCPD活動は資格取得後もその資質能力を維持するとともに更に向上させることを目的としています。

技術士に求められる資質能力（コンピテンシー）

技術士は「専門的学識」、「問題解決」、「マネジメント」、「評価」、「コミュニケーション」、「リーダーシップ」、「技術者倫理」、「継続研さん」といった資質能力を最低限備えなければなりません。

技術士のキャリア形成に必要なCPD時間の目標

- 基準CPD時間 ： 20 CPD時間／年度
- 推奨CPD時間 ： 50 CPD時間／年度（うち技術者倫理 1 CPD時間以上）
- 技術士（CPD認定）： 250 CPD時間／5年度間（うち技術者倫理 5 CPD時間以上）

  ただし、初回の登録の認定要件として「申請前の過去2年度間の各年度50CPD時間以上の実績（うち2CPD時間以上の技術者倫理の実績）」を満たすことで申請可能となります。【2025年4月より】

CPD活動実績の技術士登録簿への記載を制度化

技術士法施行規則の一部改正により、2021年9月から技術士CPD活動実績を技術士登録簿の「資質向上の取組状況」に記載できるように制度化されました。

技術士CPD活動実績名簿 / 技術士（CPD認定）名簿の公表

基準CPD時間達成者、推奨CPD時間達成者、技術士（CPD認定）認定者の名簿を日本技術士会のホームページに掲載しています。

2025年4月、CPD時間算定基準および注意事項を改訂しました

- **CPD 時間算定基準の主な見直し**

※ 組織内研修［200］および講師・技術指導［510・520・530］に年度上限30CPD時間を設定。

※ 論文・報告文-技術発表に、（ポスター発表）学協会等主催［413］および（ポスター発表）企業等主催［414］を追加。

※ 《Pe-CPD》CPD講演内容のHP視聴は、新型コロナウィルス感染症拡大の影響に伴う臨時運用対応として講演・研修［100］で計上できるとしていたが、感染症法上の位置付けの変更（2023年5月）およびPeラーニングの開始により、多様な自己学習［010］へ移行。

※ 技術協力［700］の内容に「災害調査への参加」を追加（ただし、所属組織への業務委託は除く）。

- **CPD 時間算定基準の主な見直し**

※ 学協会活動［310］は活動日ごとに個別に計上を原則とし、年度上限30CPD時間を追記。

※ 学協会誌の定期購読［320］は、1学協会に限り年度末にまとめて計上できることとした。また、［320］で計上した以外の専門誌・学術誌の購読については、多様な自己学習［010］で計上できる。

技術士CPDの資質区分と形態区分

技術士は、CPD活動の「資質区分・資質項目」及び「形態区分・形態項目」を俯瞰しつつ、CPD活動を通じてバランスの取れた幅広い資質能力の修得に取組む必要があります。

CPD 活動の資質区分と資質項目

資質区分	資質項目
A．専門的学識	1-1　技術部門全般
	1-2　専門（選択）科目
	1-3　法令・規格等の制度
	1-4　社会・自然条件
B．一般共通資質	2　問題解決
	3　マネジメント
	4　評価
	5　コミュニケーション
	6　リーダーシップ
	7　技術者倫理

CPD 活動の形態区分と形態項目

形態区分	形態項目
Ⅰ．参加型	1　講演・研修
	2　組織内研修
	3　学協会活動
Ⅱ．発信型	4　論文・報告文
	5　講師・技術指導
	6　図書執筆
	7　技術協力
Ⅲ．実務型	8　資格取得
	9　業務成果
Ⅳ．自己学習型	10　多様な自己学習

技術士CPDの登録システム（Pe－CPD）

ホームページからCPD登録システム（Pe－CPD）にアクセス。正会員は「会員ID、パスワード」でログインしWEB登録を行います。非会員であっても、WEB登録メンバー（2,000円/年）になり、「ID、パスワード」を取得すればシステムの利用が可能です。

Pe－CPDのWEB登録画面(例)

開始年月日 (必須入力)	20 25 年 4 月 1 日 (半角入力)	開始時	15 時 00 分
終了年月日 (必須入力)	20 25 年 4 月 1 日 (半角入力)	終了時	17 時 00 分
形態項目 (必須入力)	[100]講演・研修-学協会、大学、民間団体等が開催する講演会、講習会、研修会、シンポ 各形態項目の詳細は形態項目一覧でご確認ください。 形態項目		
資質項目 (必須入力)	B7 一般共通資質-技術者倫理 資質項目		
実時間 (必須入力)	2 時間 0 分 (時間は半角入力、分は１分単位で入力)		
換算係数	1 / H		
ＣＰＤ時間	2時間 0分		
ＣＰＤ名 (必須入力)	4月度技術士CPD講演会 (全角入力)		
主催者 (必須入力)	公益社団法人日本技術士会 (全角入力)		
場所	機械振興会館　会議室（ウェブ併用） (全角入力)		
ＣＰＤの内容 (必須入力) (５００文字まで)	講演：「●●大学での技術者倫理教育の実践」 ●●●●氏（●●大学　非常勤講師） ●●大学における技術者倫理についての講義事例を元に、技術者倫理教育のあり方、教育内容及びそれらを通じて技術者が保持すべき技術者倫理とは何かを解説。 (全角入力) 115文字		
備考 (４００文字まで)	(全角入力) 0文字		
講演・研修のエビデンス	講演・研修[100]で計上する場合は、エビデンスとして該当するものにチェックして下さい。 ☑ 受講証、受講証明書、修了証等 ☐ 参加者一覧、参加票、配布資料、招待メール、その他エビデンス ☐ ~~日本技術士会Pe-CPDの講演録画の視聴（内容、所見を記入）~~ (※2025年度以降は該当しません) ※上記に該当しない場合は、自己学習[010]で計上して下さい。		

日本技術士会CPD時間算定基準

技術士は、CPDの目的に適したものを自主的に選択して実施するとともに、その実績をCPD時間に換算し登録することが求められます。

2025年4月以降のCPD活動には、下表の基準が適用されます。【2025年3月までのCPD実績の登録体系（CPD区分、CPD時間算定基準）は欄外を参照ください。※】

CPD実績をPe－CPDシステムへ登録・記入するに当たっての注意事項は次頁のとおりです。

日本技術士会CPD時間算定基準　　H(hr.)

区分	形態項目	内容		登録コード	CPD時間換算係数	CPD時間年度上限
参加型	1. 講演・研修	学協会、大学、民間団体等が開催する講演会、講習会、研修会、シンポジウム、e ラーニング、見学会等への参加		100	1/H	－
	2. 組織内研修	企業等の組織が研修プログラムに基づき実施する講演・研修への参加		200	1/H	30
	3. 学協会活動	（1）学協会の委員会・専門部会等への参加		310	1/H	30
		（2）学協会誌の定期購読		320	1/H	10
発信型	4. 論文・報告文	（1）技術発表	（口頭発表）学協会等主催	411	5/H	－
			（口頭発表）企業等主催	412	2/H	－
			（ポスター発表）学協会等主催	413	4/件	－
			（ポスター発表）企業等主催	414	2/件	－
		（2）学術論文の口頭発表（学協会主催）		420	5/件	－
		（3）学術誌・論文集への論文・報告文の掲載	学術誌への査読付き論文	431	40/件	－
			査読のない論文及び企業内論文集等	432	10/件	－
		（4）学協会等が発行する学術誌への論文・報告文の査読		440	5/件	－
	5. 講師・技術指導	（1）大学、学協会、研究機関、民間団体、企業等が開催する研修会、講習会、技術説明会、シンポジウム、パネルディスカッションの講師		510	3/H	30
		（2）小・中学校等での理科教育の講師		520	1/H	30
		（3）修習技術者等に対する技術指導及び大学等の非常勤講師等		530	1/H	30
	6. 図書執筆	出版物としての技術図書の執筆（翻訳を含む）		600	1/H	30
	7. 技術協力	国・地方公共団体、大学・研究機関・国際協力機構等への有識者としての参加、災害調査への参加、JABEE・APEC エンジニアの審査委員、公的機関の審査委員等		700	1/H	30
実務型	8. 資格取得	国家資格の技術資格の取得		800	20/件	－
	9. 業務成果	（1）表彰	国・地方公共団体・学協会等からのもの（所属先からは 912）	911	20/件	－
			企業等の表彰規程に基づくもの	912	10/件	－
		（2）特許出願		920	40/件	－
自己学習型	10. 多様な自己学習	技術士の CPD に値すると判断される ①自己研究、②専門誌・学術誌の購読、③Pe-CPD の講演録画の視聴、④受講確認のできないオンデマンド講座、⑤放送大学等の TV 視聴、⑥大学、大学院、職業訓練の受講、⑦技術を通じた NPO やボランティア活動、⑧環境教育活動、⑨展示会への参加、⑩博物館等の見学、⑪語学学習、⑫異業種交流会、⑬プライベートな学習会、⑭公的な審議会の傍聴、⑮資格取得のための学習、⑯講演会の資料作成、⑰その他		010	0.5/H	30

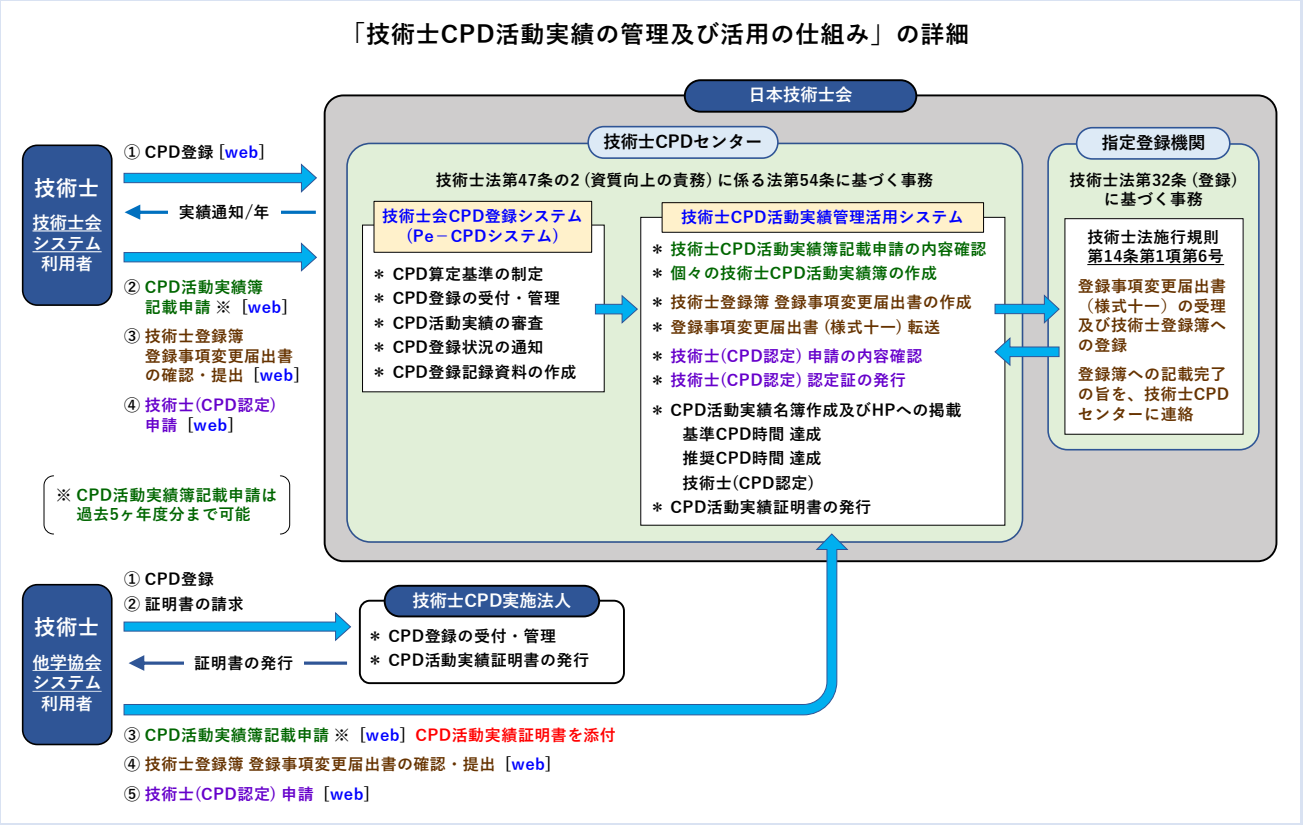
※ CPD実績の登録体系（CPD区分、CPD時間算定基準）は、CPDを実施した時期によって異なります。右側の二次元コードから、CPD実施時期に応じた登録体系を参照のうえ、CPD登録してください。

日本技術士会CPD時間算定基準（注意事項）

形態項目	Pe-CPD への登録及び記入に当たっての注意事項
共通	1）上限時間のある形態項目に注意して計上する。 2）CPD 活動実績は分かりやすく簡潔に記入するとともに、活動実績が確認できる受講証、議事録、プログラム、表彰状等を保管し、技術士本人の責任において説明できるようにしておく。
1. 講演・研修 2. 組織内研修	1）CPD の内容欄は、プログラムの内容が分かるように簡潔に記入する。 2）同一の講演・研修の実時間を、2 つの資質項目に分けて計上できる。 例：実時間 3 時間の講演会を、B2. 問題解決（2 時間）、B7. 技術者倫理（1 時間）に分けて計上する。 3）講演の合間の食事以外の短時間の休憩時間は、講演時間に含めてよい。 4）ウェブでの同時視聴は認める。 5）講演・研修［100］は受講確認ができるエビデンスがあるものに限る。それ以外は多様な自己学習［010］で計上する。特に公共調達での使用を目的に技術士 CPD 活動実績証明書等を発行する場合は受講証が必要。 6）e ラーニングは受講修了証等により受講が確認できるものに限る。それ以外は多様な自己学習［010］で計上する。 7）組織内研修は企業等の組織内に位置づけられた講演・研修・e ラーニング等に限る。それ以外は多様な自己学習［010］で計上する。 8）2 日以上連続または継続して受講した場合は、1 日ごとに分けて計上する。
3. 学協会活動	1）学協会活動［310］は、活動日ごとに個別に計上する（この場合は 30 時間/年度まで計上可能）ことを原則とするが、通年の活動として、委員会、小委員会、WG、部会等別に年度末（3 月）にまとめて計上する場合は上限を 10CPD 時間として計上できる。 2）委員会、専門部会等の設置機関名、名称、活動概要を明記する。 3）総会、大会式典等への参加は学協会活動［310］で計上する。記念講演等は講演・研修［100］で計上できる。 4）学協会誌の定期購読［320］は、1 学協会に限り年度末にまとめて計上できる。
4. 論文 ・報告文	1）学術論文の口頭発表［420］には論文集・論文名を記入する。 2）査読付き論文は、オリジナリティー、オーナーシップを有し、未発表のものとする。 3）論文・報告文の掲載、査読は題名、ページ数、内容を記入する。 4）連名・共著の場合は 1 件当たりの CPD 時間を関係者で貢献度に応じ配分し計上する。
5. 講師 ・技術指導	1）講演等のための資料作成等は、多様な自己学習［010］で計上する。 2）技術士等の国家資格の受験指導は、修習技術者に対する技術指導［530］として計上できる。
6. 図書執筆	出版社名、図書名、執筆タイトル、ページ数、執筆内容を記入する。
7. 技術協力	所属組織への業務委託として参加・協力する場合は計上できない。
8. 資格取得	資格取得のための学習は、多様な自己学習［010］で計上できる。
9. 業務成果	1）表彰は感謝状を含む。同一業務において複数の表彰は計上できない。 2）表彰は受賞日で計上する。 3）特許は出願時に計上できる。 4）複数名による特許出願は 1 件当たりの CPD 時間を関係者で貢献度に応じて配分し計上する。
10. 多様な 自己学習	1）テーマ、内容等について簡潔に記入する。 2）原則として 1 日ごとに計上する。ただし、プログラム（語学講座等）に基づく継続学習は 1 回当たりの時間と回数を記入することで一括計上できる。 3）②専門誌・学術誌の購読は、学協会誌の定期購読［320］で計上した学協会誌を除く。

技術士CPD活動実績管理システム

個々の技術士のCPD活動実績簿の作成を行い、技術士登録簿への記載、CPD活動実績名簿の作成及び技術士（CPD認定）の認定、CPD活動実績名簿のホームページ掲載、技術士CPD活動実績証明書の発行等を行います。



技術士CPD活動実績簿への記載申請

（1）日本技術士会のCPD登録システム利用者

技術士CPD活動実績簿にCPD活動実績の記載を希望する技術士は、日本技術士会ホームページから「技術士CPD活動実績管理活用システム」を利用してCPD活動実績の記載申請を行ってください。

（2）他学協会のCPD登録システム利用者※

技術士CPD実施法人（日本技術士会以外のCPD登録関係学協会）にCPD登録を行っている技術士が技術士CPD活動実績簿にCPD活動実績の記載を希望する場合は、日本技術士会ホームページから「技術士CPD活動実績管理活用システム」を利用してCPD活動実績の記載申請を行ってください。

※ 技術士CPD実施法人が発行するCPD活動記録が確認できる証明書の添付が必要です。

技術士 CPD 活動実績簿（例）

氏名	カナ氏名	登録番号	技術部門	選択科目	CPD 時間の実績（西暦/年度）								技術士（CPD 認定）		
						18	19	20	21	22	23	24	認定日	有効期限	更新回数
					合計	40	45	55	60	57	60	52	23.4.20	28.4.19	0
					うち倫理	0	0	1	2	1	3	1			
						○	○	◎	◎	◎	◎	◎			

注） ○：基準 CPD 時間達成　　◎：推奨 CPD 時間達成

記載申請について → https://www.engineer.or.jp/c_topics/008/008557.html

技術士登録簿の登録事項変更届書の提出（法的手続き）

技術士登録簿の「資質向上の取組状況」の欄に技術士CPD活動実績を記載するためには、指定登録機関である日本技術士会へ登録事項変更届出書の提出が必要です。技術士CPD活動実績簿への記載申請を行うと、日本技術士会は登録簿への記載希望を確認して、所要事項が記入された登録事項変更届書をデータで送付します。申請者が変更届書の内容を確認して提出ボタンをクリックすれば、届出完了となります。届出に費用はかかりません。「資質向上の取組状況」の欄の記載内容は、過去最大5年度間の年度ごとのCPD時間合計及びその内数として一般共通資質の技術者倫理のCPD時間です。

技術士登録簿

登録番号	登録年月日	氏名	生年月日	第二次試験合格年月日	第二次試験の技術部門の名称	自ら業務を営むときの事務所		他に勤務するときの事務所		資質向上の取組状況	備考
						名称	所在地	名称	所在地		
										技術士 CPD 活動実績	

技術士 CPD 活動実績（例）

資質区分	CPD 時間/年度				
	2020	2021	2022	2023	2024
CPD 時間合計	55	60	57	60	52
（うち技術者倫理）	1	2	1	3	1

技術士CPD活動実績名簿の公表及び「技術士（CPD認定）」の認定と公表

基準CPD時間【年間20CPD時間以上】の達成者の名簿及び推奨CPD時間【年間50CPD時間以上、うち年間1CPD時間以上の技術者倫理】の達成者の名簿を作成、技術士CPD活動実績名簿として日本技術士会ホームページに掲載します。 また、長期間連続して一定以上のCPD活動実績が認められる技術士を「技術士（CPD認定）」に認定し、認定証を発行するとともに、名簿を日本技術士会ホームページに掲載します。

公表名簿 → https://www.engineer.or.jp/c_topics/008/008070.html

CPD登録・証明書等の手数料

日本技術士会Pe－CPDシステムへの登録、技術士CPD実績簿への記載申請、技術士（CPD認定）の認定の申請、及びCPD活動実績証明書の申請に係る手数料は下表のとおりです。

CPD登録・証明書等の手数料

CPD登録団体【日本技術士会の入会区分】		Pe－CPD CPD登録	CPD実績簿記載申請	登録事項変更届出	技術士（CPD認定）申請	技術士CPD活動実績証明書
日本技術士会 Pe－CPD登録	【会員】	無料	無料※	無料	3,000 円	1,000 円
	【非会員】	2,000 円/年度	2,000 円※	無料	5,000 円	5,000 円
他の学協会で CPD登録	【会員】	—	無料※	無料	3,000 円	1,000 円
	【非会員】	—	2,000 円※	無料	5,000 円	5,000 円

※ 同一年度内における 2 回目以降のCPD実績簿記載申請は、手数料を 1,000 円とする。

問合せ先

公益社団法人日本技術士会 技術士CPDセンター
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
Tel:03-3459-1331 / mail:cpd-kanri@engineer.or.jp